

伊勢崎市教育研究所 適応指導教室 「ほっとる～む・あずま」

□開設 平成5年4月1日
□代表者職氏名 教育研究所所長 小保方 祥浩
□所在地 〒379-2234 伊勢崎市東小保方町3242-1
□電話／F A X TEL (0270)63-8367 FAX (0270)63-8367



1 運営の目的

情緒の安定、集団生活への適応、自主性・社会性の育成を図る為、状況に応じた支援を行い、社会的自立を目指すことを目的とする。

2 令和5年度職員の構成・分担

職 員		業務内容
所 長	1	総括
アドバイザー	1	総括
指導主事	1	渉外・指導全般
相談員	2	教育相談
臨床心理士	2	教育相談
室長	1	学校・保護者等との連携、通室児童・生徒への指導
指導員	2	

3 入室対象及び受け入れ状況

(1)入室対象

伊勢崎市内に在住及び伊勢崎市内の義務教育諸学校に在籍する不登校または不登校傾向の児童生徒で、本人及び保護者が入室を希望し、通室が適切であると認められた者。

(2)受け入れ状況(令和4年度)

小学生0名 中学生2名 計2名

4 令和5年度開設状況

(1) 開設日時

学校の休業日を除く月曜日～金曜日
9：30～15：30

(2) 開設期間

1 学期 4月7日～ 7月20日
2 学期 8月29日～ 12月22日
3 学期 1月9日～ 3月13日 (中3)
22日 (小6)
26日 (その他)

(3)日時程

時 間	主な活動内容
9:30～	登室・朝の会
10:10～11:00	学習活動
13:00～13:50	(学習、読書、パソコン等)
11:10～12:00	体験活動
14:00～14:50	・栽培、創作などの活動 ・運動、スポーツ
15:00～15:30	帰りの会・帰宅

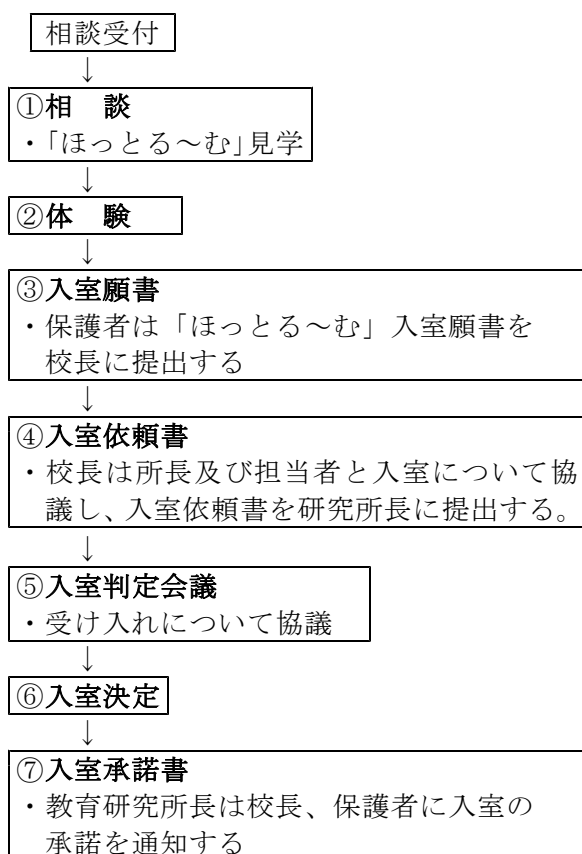
(4)主な行事予定(令和5年度)

4 月	はじめの会 学校訪問 (情報交換)
5 月	春の栽培活動 教育相談研究協議会 (情報交換)
6 月	サポートケース会議 合同交流会 (軽スポーツ)
7 月	個人面談 保護者面談
8 月	草花の手入れ、世話 学校訪問 (情報交換)
9 月	自然体験活動 (登山・自然観察)
10 月	サポートケース会議 和太鼓教室 自然体験活動 (乗馬体験)

1 1 月	秋の栽培活動
1 2 月	調理実習 大掃除 保護者面談
1 月	学校訪問（情報交換）
2 月	サポートケース会議 保護者会
3 月	お別れ会 春の栽培活動 個人面談・保護者面談

5 入室・退室の進め方

(1) 入室の手続き



(2) 退室の手続き

退室については、保護者・本人・在籍校長と協議の上、教育研究所長が退室を認めた児童生徒について、退室通知書を校長に送付する。

6 学校、家庭及び関係機関との連携

(1) 学校との連携

- 通室している児童生徒の在籍校と出席状況及び生活・学習状況等を月例報告として互いに書面等で連絡を取り合う。
- 定期的にサポートケース会議を位置づけ、臨床心理士及び心療内科医師と学級担任・学年主任・管理職・スクールカウンセラー・生徒指導主任（主事）・養護教諭等とで協議を行う。また、必要に応じて、随時上記関係者との相談や電話連絡を行う。特に学校復帰の段階になった場合や中3の進路指導に際しては、学校と十分連絡を取り合い、円滑な学校復帰や進路指導ができるように配慮する。

(2) 家庭との連携

- 保護者面接、家庭訪問、保護者会等をしたり、随時電話連絡をしたりするなど、きめ細かな連携に努める。

(3) 関係機関との連携

- 不登校には様々な要因が考えられるので、それぞれのケースについて、必要に応じて関係機関（総合教育センター、児童相談所、専門医等）との連携を図り、情報交換を密にして問題の解決に努める。

7 特色ある活動

- 「ほっとる〜む」の児童生徒が一堂に会し、協力してスポーツを楽しむことで、社会的自立に必要なコミュニケーション能力を養う。

<軽スポーツ>令和5年6月13日（火）

- 不登校または不登校傾向の児童生徒に、人、動物、自然などと触れあう体験活動を設定し、情緒の安定を図り、社会的適応能力の基礎を身につけられるようにする。

<自然体験> 令和5年9月15日（金）

<乗馬体験> 令和5年10月20日（金）